Shodai365
Okayama Shoka University
学報2024/9月号
Vol.124
岡山商科大学学報
2024年（令和6年）9月30日発行

# トヨタレンタリース新岡山と包括連携協定を調印しました。

2024年4月18日（木）、岡山商科大学は株式会社トヨタレンタリース新岡山との間で包括連携協定を締結しました。

トヨタレンタリース新岡山は、スローガン「新しいほうへ！」に「地域社会やそこに暮らし、働く人、岡山を訪れた人たちとの新しい出会い、新しいつながりを創造していきたい」との思いを込められ、事業を展開されています。地域に直接貢献できる活動を検討されている中で、本学へお声がけをいただきました。

本学では地域から寄せられる様々な課題に対して、学生と教職員が現地に赴き、地域の皆様のお話を伺いながら、地域に寄り添った活動を行う「フィールドスタディ事業」を展開しています。昨年11月、真庭市社地区で行った、竹の伐採からその活用を行うフィールドスタディに、同社の方にもご参加いただいたところ、学生・教職員とは異なったビジネスパーソンとしての視点で、持続可能な社会を作るための地域貢献活動のあり方や、人材育成のことを捉えられており、その姿勢に多くのことを学ばせていただくことができました。

フィールドスタディ事業で相互に協力することは、地域への貢献活動、持続可能なまちづくり、そして人材育成の観点からも、意義深いことから、この度の協定締結となりました。

トヨタレンタリース新岡山本社で行われた調印式では、協定書への調印の後、末長一範社長から「フィールドスタディに参加することで学生から学ぶこと、そして学生へ伝えられることもあると思う。レンタカー事業を行う企業として新しいソリューションを提供し、さらなる挑戦へと繋げ、一人ひとりが成長する機会としたい」とのご挨拶がありました。

本学井尻昭夫学長から「本学では、教室での学びに加え、学外で実践を行う「内から外へ」という取り組みを推し進めている。トヨタレンタリース新岡山の「新しいほうへ！」は地域社会の活性化に向けたとても良いスローガンだと思う。明日の人材育成に一緒に取り組んでいけることをうれしく思う」との挨拶がありました。

（産学官連携センター）

# 明徳義塾高等学校との「包括連携協定書締結」について

2024年5月14日、学校法人吉備学園は、学校法人明徳義塾明徳義塾高等学校との間に、グローバルに活躍する人材育成やスポーツを通じた高大連携などを目指して、包括連携協定を締結しました。

当日は、明徳義塾高等学校から、嵜本校長、濱田教頭、吉田事務長、横山教諭（本学OB）、本学からは井尻学長、田中副学長、蒲教務部長、海宝入試部長、亀森事務局長が出席しました。

明徳義塾高等学校は、これまで留学生を積極的に受け入れ、現在では約250名の留学生が在籍しています。これは国内の普通科高校では、もっとも多いとのことです。一方、本学はこれまでも留学生を多数受け入れてきたことから、留学生受け入れにおけるグルーバル化を進める点で一致しました。また、同校は、野球やゴルフ、剣道が代表的であるように、スポーツ分野にも力を入れています。本学も、スポーツ分野を強化していることもあり、同分野においても、相互交流ができればと期待しています。

今後は、留学生受け入れによるグローバル化やスポーツ分野の交流による同校との高大連携を進めていきます。

本学は、これまで2007年岡山後楽館高等学校を皮切りに、本学附属高等学校（2008）、津山商業高等学校（2012）、和気閑谷高等学校（2019）、倉敷翠松高等学校（2022）、倉敷高等学校（2022）と包括協定を締結し、今回の締結で７校目となります。

（入試課）

## CONTENTS

**<商大トピック>**
- 大学コンソーシアム岡山第１０期会長校となりました
- 北房神秘スポット巡り音声ガイドの多言語化について
- 夏季もカキ！「ひなせかきカキフェス」開催

**<情報アラカルト>**
- 広報室Instagram開設しました！

# 商大トピック

Topic 1

## 2023年度学位記授与式

2024.3.22

2024年3月22日、第56回学位記授与式が挙行されました。438名の学部生と8名の大学院生が、体育館に集まりました。

式は学生代表への学位記の授与から始まり、学業やスポーツで優秀な成績を収めた学生への賞状授与が行われ、その後に井尻学長から祝辞が述べられました。井尻学長は、Appleの共同創業者スティーブ・ジョブズや哲学者マイケル・サンデルの言葉を引用しながら、卒業生たちに一心不乱に努力し、素晴らしい人生を歩んでほしいとのメッセージを伝えました。

さらに、来賓あいさつとして大﨑理事から技術革新の重要性を説きつつも、人間関係を大切にし、人生を歩んでほしいとの祝辞が述べられました。

在学生代表の法学部3年友松杏美さんから「コロナ禍で不安な中、入学したが、先を歩む先輩たちの姿勢に励まされた」との送辞が述べられました。

卒業生代表の経営学部4年の小川桜さんから「コロナ禍でも工夫して教育活動を継続した教職員や温かく見守ってくれた保護者へ感謝している」との言葉がありました。

式の終了後、学生は各所属ゼミに分かれて、担当教員から学位記を受け取り、中庭や正門など思い思いの場所で記念撮影を行いました。（総務企画課）

Topic 2

## 大学コンソーシアム岡山第10期会長校となりました。

2024.4.1

本学は、2024年4月から「大学コンソーシアム岡山（以下「コンソ岡山」）」の第10期会長校となりました（1期2年）。コンソ岡山は、岡山県内の18大学と岡山県、岡山経済同友会を正会員として組織する団体で、岡山県内の高等教育機関が連携、相互協力することで、大学の知的資源を積極的に活用し、地域社会と産業界とも手を取り合うことで「時代に合った魅力ある高等教育の創造」と「活力ある人づくり・街づくりへの貢献」を目指して活動しています。

コンソ岡山は2006年に設立され、本学は2010年に第3期会長校を務め、文部科学省のGP事業「『岡山オルガノン』の構築」にかかる様々な事業展開を行い、2011年には東日本大震災へのボランティア派遣なども行いました。

会長校として、大学を取り巻く諸課題に対して、スピード感をもって対応するため、新たに「基本方針検討委員会」を設置しました。今後、産業界、行政とも協力して、地元岡山発展のために尽力をしていきます。（産学官連携センター）

Topic 3

## 2024年度 入学宣誓式

2024.4.3

2024年4月3日、入学式が執り行われました。あいにくの雨模様となりましたが、式場には、学部生、大学院生、留学生別科生あわせて約500名、保護者約400名、来賓、教職員を含めると約1,000名が集いました。

吹奏楽部の伴奏による国歌斉唱の後、井尻昭夫学長が「入学許可」を宣言し、式辞が述べられ「グローバル化する社会の中で生きて行くためには、世界的な視野を持ち、己を鍛え磨くことが必要である」と激励の言葉を述べられました。

続けて、来賓祝辞では本学卒業生で愛媛県八幡浜市長を務める大城一郎氏から「人は人でしか磨くことができない。友人や先輩、後輩、先生方との交流の中で、生涯にわたる真の友情と絆を育み築いてください」と先輩からの助言がありました。

続いて新入生歓迎の言葉では、経済学部経済学科4年の堀田玲さんが「仲間とともに新たな挑戦をして貴重な体験と信頼できる仲間という宝物を手に入れてください」と述べました。

新入生代表で経済学部経済学科の藤田彩菜さんが「勉学に励み、学生としての本分を尽くします」との宣誓を行い、学歌斉唱で閉式となりました。

入学式の終了後、本学卒業生で税理士法人パートーナーズ代表の川本洋氏が記念講演を行い、挫折があっても機会を生かし成功を収めたご自身の来歴について語られ「来るべき機会を生かすために怠らず準備をしてほしい」と締めくくられました。

正午にかけて、一時的に雨が上がることもあり、記念撮影をする様子が構内あちらこちらで見られました。（総務企画課）

Topic 4

## 岡山トヨペット・交通事故ZEROプロジェクトへの協力

2024.4.5

岡山トヨペット株式会社では、2014年から交通事故ZEROプロジェクトとして、例年、春の交通安全運動に合わせて、様々な活動をされています。2024年度は「NO MORE 飲酒運転」というテーマでCM動画を制作され、広報活動を展開されることになりました。

岡山商科大学では、犯罪被害者支援部つぼみが交通事故の被害者遺族を講師に招いた講演会の開催やももパト隊として、交通安全に関する啓発発動を行っていることから、岡山トヨペットから、活動を一緒にしませんか、とのお声がけをいただきました。

2024年4月5日に、交通事故ZEROプロジェクトの記者会見が岡山トヨペット本社で行われました。岡山トヨペットの末長社長から「飲酒運転は減少傾向にあるもののゼロにはなっていない。未来ある子どもたちの為、交通安全運動を行っていく」との力強いご挨拶がありました。本学法学部3年生でつぼみの硲隼一部長から「犯罪被害者支援部として、被害者も加害者も生まないための活動を行ってきた。交通事故ZEROプロジェクトを学生の間でも周知していきたい」との挨拶がありました。

記者会見後の4月9日、岡山トヨペットから、交通事故ZEROプロジェクトのために作られた「岡山トヨペット×岡山商科大学」とデザインされた大学ノートが贈られ、つぼみの学生から、本学学生に配布されました。（産学官連携センター）

Topic 5

## 江西英豪傳睿教育グループとの連携について

2024.4.24

2024年4月24日（水）、留学生の受け入れなどで協力関係にある、江西英豪傳睿（こうせいえいごうふえい）教育グループとの関係を強化するため、同グループの日本事務所を学校法人吉備学園岡山商科大学内に設置することになり、式典が開催されました。

式典には、江西英豪傳睿教育グループの李賓副総経理、同副総経理の徐興根氏、同財務総監の万鵬氏が出席し、本学からは、井尻昭夫理事長と、海宝賢一郎入試部長が出席しました。

井尻理事長から、江西英豪傳睿教育グループとの関係が強化され、両大学の連携がより実りあるものとなることを期待するとの挨拶がありました。李賓副総経理から、日本事務所設置と式典の開催についてお礼が述べられました。

挨拶の後、出席者が並び立ち、テープカットを行い、集まった関係者から盛大な拍手が送られました。（総務企画課）

Topic 6

## 北房神秘スポット巡り音声ガイドの多言語化について

2024.5.24

真庭市北房地区は、ホタルやコスモスの名所として広く知られているほか、古墳や格式のある社、お大師巡りなど、豊かな歴史と文化に彩られた地域です。

昨年度、里山里海交流館しんぴおを運営する（一社）北房観光協会から「外国人旅行者や海外からの視察団が施設を訪れることがあり、ホタルの保護活動を紹介するプロモーションビデオのナレーションを多言語化してほしい」との依頼があり、委託事業としてお引き受けし、実施しました。その事業に続き、今年度は、北房地区の歴史と文化にまつわる神秘スポットを巡るガイドツアー「日本一のホタルの里の神秘スポット巡り＆探検」（以下、「神秘スポット巡り」）の音声ガイドを多言語化してほしいとの依頼を受けました。

音声ガイドは、英語を松浦教授、中国語を黎教授、韓国語を徐准教授がそれぞれ翻訳し、5月24日（金）、留学生の皆さんが音声を吹き込みました。英語はスリランカ出身のヤスミ・ビヤンカさん、中国語は中国出身の王伊諾さん、韓国語は韓国出身の金浩光さんが担当しました。三人とも商学科所属

の留学生です。
北房には500万年前にできた鍾乳洞、妖精が見える平安杉、多数の古墳に加え諏訪神社、金毘羅神社などのパワースポットがあります。今回吹き込んだ音声は、観光協会の坂本事務局長が海外からの旅行者を案内するときに、持参したタブレットで流されるそうです。（産学官連携センター）

Topic 7

## 津山商業高等学校「中国文化プログラム」について

2024.5.25～

本学と協定を結ぶ津山商業高等学校との中国文化プログラムは、2013年にスタートして以来、10年以上続く人気講座となっています。今年度は5月25日（土）に同校を訪問し、中国の端午節に食べられる粽（ちまき）の歴史説明や中国結びの作成など、楽しい交流会を行いました。翌週からはZoomを用いて、岡山商科大学孔子学院の黎暁妮学院長、孟海霞副学院長、朱風講師が担当する中国文化プログラムが始まりました。受講生は、初回講座時は緊張していましたが、回を重ねるごとにリラックスし、楽しく学びました。今年度は中国語の発音だけでなく、中国の教育、映画、楽器など文化紹介に重点を置きました。7月19日（金）に無事最終講を迎え、高校生たちは他国の文化に触れる貴重な機会を得ました。来年度もこのプログラムを継続し、さらに多くの生徒に提供したいと考えています。
（産学官連携センター）

Topic 8

## ホタルのタベ in 北房と北房ホタル保存会への寄付

2024.6.8,6.15

真庭市北房では、毎年ホタルが飛び交う6月に「ホタルのタベ」というイベントがあります。今年は8日と15日に開催され、学生6名、教職員3名が、連携協定を結んだ（株）トヨタレンタリース新岡山従業員10名の援助を頂戴し、子供たちを対象とした「ランタンづくりワークショップ」を実施しました。これは、ホタルにやさしい赤色に灯るランタンを制作してもらい、それで足元を照らしながらホタルを楽しむという、ホタル観賞マナー向上の啓発活動も兼ねています。また、ワークショップで得た参加費の一部を寄付し、ホタルの保存活動に役立ててもらうという企図もありました。ランタンは、プラスチックのカップに絵を描いたりマスキングテープによる模様で着飾ったりした後、ろうそく型のLEDを入れ、持ち手となる割りばしにひもで吊り下げて完成です。8日はあいにく大雨でしたが15日は晴れて、2日間で合計147名の子供たちに楽しんでもらえました。学生たちは最初戸惑っていましたが、次第に慣れて手際よく子供たちをサポートしてくれました。そして、7月9日に地元で開催された寄付贈呈式では、利益の全額42,980円を保存会の方にお渡しし、大いに感謝いただきました。
（経営学部 教授 三好 宏）

Topic 9

## 夏季もカキ！ 「ひなせかきカキフェス」開催

2024.7.7

本学が協働する日生カキオコまちづくりの会や備前観光協会、日生漁協等が主催者となり、夏では初のカキイベントを7月7日、日生五味の市で開きました。名付けて「かき（夏季）カキフェス」。全国牡蠣－1グランプリ加熱部門で1位を獲得した日生の冷凍カキを使い、カキオコ店、移住者のカフェなど7店舗が、カキオコバーガー、オイ星（スター）チーズボールといったメニューで味を競い合いました。漁協からは日生産岩ガキも披露され、40分待ちの列も出来ました。食以外も備前緑陽高生によるカキ殻色付けワークショップや、アクセサリーづくりのブースもあったりと盛りだくさんで、大勢の家族連れでにぎわいました。イベントでは学生14名、教職員4名に、包括連携協定を結んだ（株）トヨタレンタリース新岡山の従業員13名も加わり、運営をサポートしました。「日生は年中カキが楽しめるまち」を目指しており、本学も引き続き協力していきます。
（経営学部 教授 三好 宏）

Topic 10

## 総社市インターンシップ開講式

2024.7.24

総社市との包括協定に基づくインターンシップの受け入れが令和6年度も行われ、本学から8名の学生が応募しました。インターンシップの開始に先立って、開講式が令和6年7月24日（水）に総社市役所で執り行われました。
初めに、片岡聡一総社市長から「本日の開講式の司会は令和3年度にインターンシップに参加し、令和4年から総社市役所に入庁した岡山商科大学の卒業生が務めている。彼は消防署で立派な活躍をしている。皆さんも彼に続いてほしい」とのご挨拶がありました。
続いて、本学を代表して、中村産学官連携センター課長から「市役所での業務を通じて、地域社会に対する理解を深めるとともに、社会力を向上してください。総社市の皆様には学生を温かく迎え入れてくださり深く感謝申し上げます」と挨拶がありました。
開講式には、片岡市長の他、中島副市長、久山教育長、梅田総合政策部長、林文化スポーツ部長、中山秀木消防庁、江口教育部長らの出席があり、学生一人ずつが会場の全員に向けて決意表明をしました。
開講式終了後、片岡市長から市長室へご招待があり、学生から市長への質問や総社市の印象などが述べられました。
（産学官連携センター）

Topic 11

## 湯原温泉郷の奇祭「はんざき祭り」

2024.8.7－8.9

美作三湯の一つとして有名な湯原温泉では、「はんざき祭り」という奇祭が毎年8月8日に開催されています。「はんざき」とは「オオサンショウウオ」のことで、「半分に裂けても生き残る」という伝説からそう呼ばれています。本学では、十数年にわたってこの祭りの補助活動を続け、本年も様々な学科から延べ14名の学生が参加しました。当日は7日の前夜祭から始まり、そこで学生は出店の補助や交通整理等を担当し、8日の本祭当日は、山車の飾りつけや山車の引き回しに協力しました。また、この活動と並行して、本学の西助教が実施している特産品開発を行うプロジェクトの一環として、前夜祭と本祭で玉野市の番田芋を使ったどら焼きを学生の手で販売しました。参加した学生は、地域の方々とかかわる中でイベントを運営することの大変さや、若い人が少ないという地域の現状を肌で感じるなど、多くの学びを得ることができました。また来年も多くの学生が参加することを期待しています。（経営学部 准教授 大石貴之）

Topic 12

## 科学研究費助成事業への取り組み

| 研究種目・期間 | 研究課題 | 研究者（所属） |
|---|---|---|
| 基盤研究（C）2020～2024 | EU農政下における家族制農業生産についての民族誌的研究 | 杉本　敦〔研究代表者〕（経営学部・准教授） |
| 若手研究 2020～2024 | 日本における量的・質的金融緩和政策の実体経済に対する効果の検証 | 井尻　裕之〔研究代表者〕（経済学部・准教授） |
| 若手研究 2020～2024 | 消費者の誘惑と自制心を考慮した年金制度に関する研究 | 熊代　和樹〔研究代表者〕（経済学部・准教授） |
| 基盤研究（C）2021～2024 | ナッジを活用した高年齢者の労働供給に関する研究 | 國光　類〔研究代表者〕（経済学部・准教授）<br>三谷　直紀〔研究分担者〕（経済学部・特任教授）<br>熊代　和樹〔研究分担者〕（経済学部・准教授）<br>佐々木　昭洋〔研究分担者〕（経済学部・准教授） |
| 基盤研究（C）2021～2024 | 新型コロナウィルス感染症拡大下における、独居高齢者の孤立化に関する実証的研究 | 粟屋　剛〔研究分担者〕（法学部・特任教授） |
| 基盤研究（C）2021～2024 | デジタル社会に求められる職業会計士の役割・能力と今後の会計教育のあり方 | 吉良　友人〔研究分担者〕（経営学部・准教授） |
| 若手研究 2021～2025 | 植民地期ベトナム南部の米輸出の展開と地域内消費－アジア米貿易の動向に注目して－ | 池田　昌弘〔研究代表者〕（経済学部・准教授） |
| 基盤研究（C）2022～2025 | 「現代における診療拒否の諸相」の解明を通じた医療提供及び患者支援に関する研究 | 粟屋　剛〔研究分担者〕（法学部・特任教授） |
| 基盤研究（C）2022～2025 | 日本のマクロ経済の長期停滞とゼロ金利政策に関するDSGEモデルによる包括的な分析 | 星野　聡志〔研究分担者〕（経済学部・准教授） |
| 基盤研究（B）2022～2025 | 電磁気現象の集束及び増幅に着目した渦電流探傷システムの開発 | 箕輪　弘嗣〔研究分担者〕（経営学部・准教授） |
| 基盤研究（B）2022～2025 | LGBTQ当事者の家族形成実現とライフプラン教育の社会実装への相互深化モデル形成 | 粟屋　剛〔研究分担者〕（法学部・特任教授） |
| 基盤研究（C）2024～2026 | 感染症流行時等、患者・家族への医療者・介護者のあるべき接遇の倫理的法的社会的研究 | 村岡　潔〔研究代表者〕（法学部・客員教授）<br>福永　憲子〔研究分担者〕（法学部・研究員） |
| 基盤研究（C）2024～2026 | 「観光による地域活性化」にむけた顧客志向の受容プロセスの解明 | 三好　宏〔研究分担者〕（経営学部・教授）<br>大石　貴之〔研究分担者〕（経営学部・准教授） |
| 基盤研究（B）2024～2027 | 無縁社会における高齢者法とその教授法の確立・輸出 | 鬼頭　祐紀〔研究分担者〕（法学部・准教授） |

## 2024年度前期 岡山経営者論について

2024.4.15

岡山経営者論は、（一社）岡山経済同友会のご協力のもと、ボランティアプロフェッサーによる講義を1996年から行っています。

4月15日に岡山経済同友会への「DVD贈呈式」ならびに「開講式」を行いました。「新しい価値を創造する企業の経営」をテーマに岡山トヨタ自動車（株）・代表取締役社長・梶谷俊介氏、（株）サンラヴィアン・代表取締役社長・占部守弘氏、税理士法人パートナーズ・代表社員・川本洋氏、（株）真庭運創研・代表取締役社長・小林一昭氏、（株）佐田建美・代表取締役社長・佐田時信氏、クラカグループ・倉敷青果（株）・取締役・カット野菜部部長・寺田幸司氏、邦美丸・漁師・富永邦彦氏・富永美保氏、（株）アイリス・代表取締役社長・石川哲也氏にご登壇いただきました。

外部環境の大きな変化に伴う新しい価値を創造し提供することへの取り組み、また地域で事業を創出し発展していく状況について、地域に根ざした活動の重要性を、登壇者の豊富な経験をもとに講義いただき、受講学生からも実学、起業のあり方が学べる点から大変好評でした。後期も引き続き、「人と心による経営」をテーマについて、地域でご活躍している方々にご登壇いただく予定です。　（経営学部長 西敏明）

## オープンキャンパス2024を開催しました

2024.6.16、7.13、8.24、9.28

6月16日（日）、7月13日（土）、8月24日（土）、9月28日（土）の4回にわたり、オープンキャンパスを開催しました。本年度は全て来学型で実施し、県内外からたくさんの高校生と保護者にご参加いただきました。合同説明会や高校内ガイダンスで本学ブースへ相談に来たことのある高校生も多く、真剣に進路検討をしてくださっていることが伝わってきました。中には2回連続での参加者もおられました。実際に足を運んで本学を体感していただくことで、建設中の新校舎でのキャンパスライフを想像していただけたのではないかと思います。

オープンキャンパスでは、ミニ講義をはじめ、卒業生によるトークセッションや在学生による学生生活紹介、ゼミ活動紹介など、高校生が大学生活を具体的に思い描けるようなプログラムになるよう、毎回工夫を重ねています。

参加者アンケートでは、「先輩方や学校の雰囲気が良かった」、「実際に大学生の話を聞けて現実感が湧いてきた」、「とてもわかりやすい講義だった」といったご感想をいただきました。

また事前告知では、テレビの生放送番組に在学生が出演しました。緊張しつつも素敵な笑顔でPRをやり切り、収録後は達成感と安堵感にあふれた表情をみせていました。アナウンサーや芸能人の方々が上手にリアクションを取りながら番組を進行していくプロの技を間近で見られたことも、学生にとって貴重な経験となりました。

オープンキャンパス当日の学生スタッフたちも、会場誘導やプレゼンテーションなど、暑い中で元気に頑張ってくれました。やりがいを感じて次回もスタッフをしたいと申し出る学生もおり、高校生との交流がよい刺激になった様子でした。

10月26日（土）には、大学祭との同時開催で入試説明会を行います。オープンキャンパス以外にも、個別訪問のほか、LINEやZoomでの個別相談を随時受け付けていますので、入試課までお気軽にお問い合わせください。

## 玉野市フィールドスタディ　番田芋プロジェクトに新たな動き

2024.4.1～

本学が玉野市番田地区の特産「番田芋」を用いた地域ブランディングプロジェクトに参画して2年目に入りました。本プロジェクトは、なかや宗義（菓子製造業）や小倉産業（お土産品企画・卸売業）、大江紙器（梱包資材製造業）ら地元企業と生産者が連携し、番田芋の知名度向上と需要の創造によって後継者不足の問題を解決しようと進めるものです。

今年度は、経営学部商学科西ゼミ3年生16名が規格外の番田芋を使用した芋焼酎のリブランディングに携わっています。学生は大江紙器よりパッケージデザインに関する講義を受けたほか、製造元の三光正宗（清酒・焼酎製造業）より酒類販売の法規制等を学びました。並行して、小売店や飲食店で他社製品を調査したり、ターゲット顧客層に対して飲酒頻度や購買経験、購入意向を調査したりと、市場の情報収集・分析を重ねました。5月から6月には、ばんだ農園で作付けと生産者へのヒアリング、現地の景観調査も行い、得られた情報をもとにラベルデザインを提案しました。ある学生はアルバイト先の飲食店に取り扱いを交渉する等、営業活動も行っています。

さらに、経営学部の学生有志15名が「人と人をいもで繋ぐ」をスローガンに、番田芋の知名度向上に取り組んでいます。具体的には「紫いもの洋風どら焼き」の販売を通して、番田芋の現状課題や魅力を発信しています。これまでに三井生協グルメフェス（5月12日、7月20日）、第27回たまの・港フェスティバル（5月18日、19日）、湯原温泉はんざき祭り（8月7、8日）等に出店しました。学生は消費者との接点から見つかる大小様々な課題に対してその都度振り返りながら、ブランディングのみならずマーチャンダイジングについても学びを深めています。たとえば、来場者の特性や立地を考慮した在庫数量やコミュニケーション内容の調整、消費者の動線や目線を考慮した販促物の配置・デザイン、商品の調達・管理などです。秋以降も複数のイベントに参加予定です。活動の様子は Instagram（@sweetpotato_banda）でご覧ください。

（経営学部 助教 西 春奈）

エッセー 数珠つなぎ

## バスケットボールを再開して感じたこと

経済学部 経済学科 准教授　星野聡志

学生時代に部活動でしていたバスケットボールを再開して早いもので1年半が経ちました。約10年ぶりに再開したこともあり、当初は体力的にも技術的にも初心者に毛が生えた程度のものでした。しかし継続していくうちに下手なりではありますが、次第にできることが増え、それに伴い練習の頻度も週に1回程度から現在では、週に3回程度まで増えてしまいました。

私が部活でバスケットをしていた2000年代に比べて、現在ではドリブルやシュートなどテクニックは非常に向上しているように感じます。また、YouTubeなどそのスキルの情報も手に入れやすくなっております。シュート1つをとっても、共通のコツとしてあげられているものや、人により主張が異なるものなど様々なものがあるように印象を受けます。そして、自分に合うものがある一方で、試してみたけど合わないもの、そして、すぐに上達につながるものや、ある程度継続しなければ結果につながらないものなど様々です。

最近、バスケットの練習方法などに触れていると、勉強、仕事、そして研究方法にも通ずることがあるようにも思えます。勉強や仕事についていえば、その効率を上げるためのコツをまとめた本など多くの情報があります。また、研究活動では、共同研究や他の研究者の話を通して、研究の進め方など多くの情報に触れる機会があります。

こうした新しい情報を自分の生活や仕事の中で取り入れるときには、自分なりに咀嚼してより合うように解釈してみることを心がけています。いずれにしても、継続することが大切かと思いますが、これが最も難しいことであるように痛感しております。研究者として教育者としてのレベルを上げるためにも、小さなことからコツコツと継続していければと思います。この文章を書き始めた前日にも試合があったこともあり、全身筋肉痛なので、休息をとりつつ教育活動や研究活動に邁進できるように備えたいと思います。

# キャリアセンター便り

## 2025年3月卒学生（現4年生）の就職活動状況について

2025年3月卒学生（現4年生）の就活は、2つの大きな変化の下で行われました。

①2023年5月に新型コロナの感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、4年ぶりにインターンシップや企業説明会、面接が対面で行われるようになりました。

②インターンシップの定義が改正され、「5日間以上」などの条件を満たせば参加学生の情報を採用活動に利用できる事実上の「採用直結インターンシップ」が導入されました。

この2大要因に景気回復を反映して「売り手市場」がより鮮明になりました。

これらの背景及び好調な企業業績に支えられ、初任給アップや賃上げを行う企業が増えました。また、就職情報サイトの学情が行った企業アンケートでは、2025年卒の採用予定数を前年より「増やす」（24.4%）との回答が「減らす」（3.2%）を大きく上回り、特にインバウンド（訪日外国人観光客）急増の恩恵を受けた「旅行・ホテル・レジャー・フードビジネス」及び「百貨店・ストア・流通」業界で人手不足感が一気に高まりました。こうした情勢の下、リクルートワークス研究所の調査によればコロナ禍の2022年卒対象で1.50倍まで落ち込んだ大卒求人倍率は1.75倍まで回復しました。

このように就活環境が変化する中、本学学生の就活においても、インターンシップ等に参加した企業から早期選考やセミナーの案内をいただき、内定に結びつくなどして、4月～5月に就職活動を終了する学生が増加し、動き出しの遅い学生との「二極化」が鮮明となりました。

## 2026年3月卒学生（現3年生）の就職活動について

2026年3月卒業予定学生（現3年生）については、学内の就職ガイダンス及び学外の就職支援業者開催のイベント等共に参加率が良く、順調に活動しているものと思われます。また、採用環境では、引き続き売り手市場が継続し、早く母集団を形成したいという企業の思惑から、より一層の早期化が見込まれます。キャリアセンターでは、後期からも引き続き以下の内容で、これからの就活本格化に備えた就職支援に努めていきます。

### 今後の主な就職支援行事予定（現3年生）対象

| | |
|---|---|
| 2024年 9月25日（水） | 業界研究セミナー①　各業界の人事担当者の方々との座談会 |
| 2024年10月 2日（水） | 業界研究セミナー②　各業界の人事担当者の方々との座談会 |
| 2024年10月 9日（水） | リクルートスーツ講座「リクルートスーツの着こなし方」 |
| 2024年10月23日（水） | 第3回　ガイダンス「エントリーシート&履歴書」 |
| 2024年11月 6日（水） | 第4回　ガイダンス「個人面接&グループディスカッション」 |
| 2024年11月13日（水） | ヘアスタイル&メイク講座「ヘアスタイル&メイクで内定率アップ！」 |
| 2024年12月11日（水） | 第5回　ガイダンス「志望動機の書き方のポイント」 |
| 2024年12月18日（水） | 第6回　ガイダンス「就活前に知っておきたいSPIの知識」 |
| 2025年 1月 8日（水） | 第7回　ガイダンス「3月就活解禁までにやるべきこと!!」 |
| 2025年 1月27日（月） | 短期集中SPI対策講座「SPIなんて怖くない！」 |
| 1月28日（火） | |

## 「大学生災害ボランティア研修会 第1回講座に参加しました」 2024.6.6

令和6年度、災害時における被災地支援プログラムに関する協定に基づく連携事業（岡山県知事、岡山社会福祉協議会及び大学との協定）として、大学生災害ボランティア研修会を実施しました。

南海トラフや集中豪雨など災害リスクが高まる中、大学生一人一人の防災意識の向上と被災者支援のノウハウを身に付けようという視点から、本学から約170名の学生が研修に参加しました。

この講座では、災害での地域住民（被災地）への影響、近年の災害に関する動向、災害ボランティアへ参加した際の準備と心構えなど日頃の講義では聴くことの出来ない貴重な話を聞くことができました。研修会の終盤では「もし県内で災害が起こった時、被災された方や被災地域のために自分ができること」を考えて発表する場面がありました。学生からは「ボランティア活動に参加する」「被災した子ども達の遊びや勉強のお手伝いをする」等の意見が発表されました。

この研修会で学んだことを生かし、災害時に活躍できるような学生になってほしいと思います。

（学生課）

## 金融を総合的に学ぶ「金融就職対策ゼミ」 2024.7.19

経済学部では、金融に関する【理論】と【実践】を両面から学び、世の中のお金の流れについて深く理解する人材の育成に取り組んでいます。その中の科目「金融就職対策ゼミ」では、銀行や証券会社、保険会社などの金融機関への就職を目指す学生を対象に、キャリア教育を実施しています。金融の現場で活躍している卒業生を外部講師としてお招きし、就業内容や求められる能力、やりがい等を聴講することで、業界への理解を深め、就職活動への意識付けを行います。また、自分の価値観や行動特性に関するディスカッションを通じて、言語的なコミュニケーション能力や、共感の共有による人格的な発展を目指しています。

（経済学部 准教授 國光 類）

Information　情報アラカルト

## 人事異動

（2023年10月～2024年9月現在）

| 種別 | 役職等 | 氏名 | 所属 | 日付 |
|---|---|---|---|---|
| 退職 | 教授 | 九鬼一人 | 法学部法学科 | 3月31日 |
| 退職 | 教授 | 吉岡伸一 | 法学部法学科 | 3月31日 |
| 退職 | 教授 | 太田佳光 | 経営学部経営学科 | 3月31日 |
| 退職 | 教授 | 田中　潔 | 経営学部商学科 | 3月31日 |
| 退職 | 特任教授 | 前田健一 | 経済学部経済学科 | 3月31日 |
| 退職 | 特任教授 | 古川澄明 | 経営学部経営学科 | 3月31日 |
| 退職 | 講師 | 両角成広 | 経済学部経済学科 | 3月31日 |
| 退職 | 事務局長 | 白神敏彦 | 法人事務局 | 3月31日 |
| 退職 | 次長 | 藤原誠二郎 | 法人事務局 | 3月31日 |
| 退職 | 嘱託職員 | 阿部敏昭 | 学生課 | 3月31日 |
| 採用 | 教授 | 比嘉　正 | 法学部法学科 | 4月1日 |
| 採用 | 教授 | 中條和光 | 経済学部経済学科 | 4月1日 |
| 採用 | 助教 | 井尻武志 | 法学部法学科 | 4月1日 |
| 採用 | 事務局長 | 亀森敏宏 | 事務局 | 4月1日 |
| 採用 | 参事 | 藤井純子 | 学生課 | 4月1日 |

| 種別 | 役職等 | 氏名 | 所属 | 日付 |
|---|---|---|---|---|
| 採用 | 事務職員 | 水川友裕 | 総務企画課 | 4月1日 |
| 採用 | 嘱託職員 | 松田朋子 | 図書課 | 4月1日 |
| 昇任 | 教授 | 門脇一彦 | 経営学部経営学科 | 4月1日 |
| 昇任 | 教授 | 蘇　君業 | 経営学部経営学科 | 4月1日 |
| 昇任 | 准教授 | 鬼頭祐紀 | 法学部法学科 | 4月1日 |
| 昇任 | 課長補佐 | 藤岡　彰 | 図書課 | 4月1日 |
| 昇任 | 係長 | 橋本真記 | 教務課 | 4月1日 |
| 昇任・異動 | 参与 | 佐藤敏昭 | 法人事務局 | 4月1日 |
| 昇任 | 参与 | 王前美重 | 法人事務局 | 4月1日 |
| 異動 | 専務理事 | 三浦一男 | 法人事務局 | 4月1日 |
| 異動 | 課長補佐 | 村岡　崇 | キャリアセンター課 | 4月1日 |
| 異動 | 事務職員 | 朝原智子 | 入試課 | 4月1日 |
| 異動 | 事務職員 | 那須千恵美 | 総務企画課 | 4月1日 |
| 異動 | 事務職員 | 姫路晶代 | 法人事務局 | 4月1日 |
| 新任 | 国際交流室長 | 吉井昌彦 | 経済学部経済学科 | 4月1日 |

（総務企画課）

## 令和5年度決算（岡山商科大学）

### 資金収支内訳表

（単位：千円）

| 収入の部 | |
|---|---|
| 科目 | 金額 |
| 学生生徒等納付金収入 | 1,908,745 |
| 手数料収入 | 21,543 |
| 寄付金収入 | 31,335 |
| 補助金収入 | 488,564 |
| 資産売却収入 | 0 |
| 付随事業・収益事業収入 | 24,685 |
| 受取利息・配当金収入 | 6 |
| 雑収入 | 199,546 |
| 借入金収入 | 0 |
| 収入の部合計 | 2,674,424 |
| **支出の部** | |
| 科目 | 金額 |
| 人件費支出 | 1,228,652 |
| 教育研究経費支出 | 772,473 |
| 管理経費支出 | 232,275 |
| 借入金等利息支出 | 277 |
| 借入金等返済支出 | 15,000 |
| 施設関係支出 | 381,643 |
| 設備関係支出 | 43,269 |
| 支出の部合計 | 2,673,589 |

誌面の都合により千円未満の単位を省略しています。

### 事業活動収支内訳表

（単位：千円）

| | | 科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| 教育活動収支 | 収入 | 学生生徒等納付金 | 1,908,745 |
| | | 手数料 | 21,543 |
| | | 寄付金 | 17,784 |
| | | 経常費等補助金 | 333,730 |
| | | 付随事業収入 | 24,685 |
| | | 雑収入 | 199,546 |
| | | 教育活動収入計 | 2,506,033 |
| | 支出 | 人件費 | 1,230,328 |
| | | 教育研究経費 | 941,212 |
| | | 管理経費 | 283,560 |
| | | 徴収不能額等 | 0 |
| | | 教育活動支出計 | 2,455,100 |
| | | 教育活動収支差額 | 50,933 |
| 教育活動外収支 | 収入 | 受取利息・配当金 | 6 |
| | | その他の教育活動外収入 | 0 |
| | | 教育活動外収入計 | 6 |
| | 支出 | 借入金等利息 | 277 |
| | | その他の教育活動外支出 | 0 |
| | | 教育活動外支出計 | 277 |
| | | 教育活動外収支差額 | △ 271 |
| | | 経常収支差額 | 50,662 |
| 特別収支 | 収入 | 資産売却差額 | 0 |
| | | その他の特別収入 | 169,481 |
| | | 特別収入計 | 169,481 |
| | 支出 | 資産処分差額 | 73,941 |
| | | その他の特別支出 | 0 |
| | | 特別支出計 | 73,941 |
| | | 特別収支差額 | 95,540 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | | 146,202 |
| 基本金組入額合計 | | | 0 |
| 当年度収支差額 | | | 146,202 |

（参考）

| | |
|---|---|
| 事業活動収入計 | 2,675,520 |
| 事業活動支出計 | 2,529,318 |

（会計課）

## 陸上競技部：走るごとに強く、勝つごとにたくましく

日頃より岡山商科大学陸上競技部の活動に深いご理解と、多くのご支援をいただき感謝申し上げます。

今年の陸上競技部は躍進のシーズンになっています。4月には日本GPシリーズ水戸大会にて奥山琴未選手（2年；女子砲丸投）の優勝を皮切りに、チームの目標としていた5月の中四国インカレでは、悲願の男子4×100mRの優勝を筆頭に3種目の優勝を果たしました。さらに快進撃は続き、6月の日本学生個人選手権では松浦大雅選手（4年；男子100m）が日本代表選手と並ぶ本学史上初の5位入賞、U20日本選手権では鳥丸沙葵選手（1年；女子100mH）が8位入賞、7月の西日本インカレでは、男子100mにて松浦選手、田中統也（4年）選手が本学史上初のダブル入賞（4位・5位）を果たしています。躍動する選手の姿は、まさに「走るごとに強く、勝つごとにたくましく」と言っても過言ではないでしょう。今年最大の目標である日本インカレに向けて更なる旋風を起こします。選手・スタッフ一同、「地方からの挑戦」を合言葉に、頑張ります。（学生課）

## 射撃部：令和6年度JOCジュニアオリンピックカップでの活躍

2024年度の岡山商科大学体育会射撃部は、5月に開催された「2024年度関西学生スポーツ射撃選手権春季大会」から素晴らしい成績を収めております。団体戦では、ビームピストル女子団体、エアピストル男子団体、エアライフル男子団体の3種目で表彰台を獲得しました。個人戦では、井下紗彩也選手（法学科1年）がエアピストル女子60発競技で優勝し、ビームピストル女子60発競技でも準優勝を果たしました。また、エアライフル男子立射60発競技では、主将の戸田陽翔選手（経済学科2年）が西日本学生選手権に続いて優勝し、今シーズン2冠目を達成しました。これらの結果により、6月に栃木県で開催された「第26回日本学生選抜スポーツ射撃競技大会」への出場権を獲得しました。同大会では、エアライフル男子立射60発競技で戸田陽翔選手が3位に入り、中四国地方の大学として初の表彰台を獲得しました。また、エアピストル競技では井下紗彩也選手が女子60発競技で3位、中山惇之丞選手（法学科1年）が男子60発競技で準優勝、佐津間昌洸選手（法学科4年）が8位に入賞しました。これにより、男女ともに表彰台に登り、男子チームはダブル入賞を達成しました。

8月に開催された「2024年度関西学生スポーツ射撃選手権秋季大会」では、男子エアライフル団体戦で2019年以来5年ぶりの優勝を果たし、男子エアピストル団体戦でも準優勝しました。個人戦でも多くの選手が入賞または表彰台に立ち、10月に開催される全日本学生スポーツ射撃選手権への出場権を獲得しました。

さらに、9月には埼玉県長瀞で開催された「令和6年度JOCジュニアオリンピックカップ 兼 第34回 ISSFジュニアスポーツ射撃競技選手権大会」に、2017年の創部以来初めて出場しました。この大会は、国内U-21カテゴリの選手が集まるトップレベルのジュニア・ユース大会です。エアライフル男子立射60発競技に戸田選手、エアピストル男子60発競技に中山選手、エアピストル女子60発競技に井下選手が出場し、3選手全員が表彰台に登るという素晴らしい成果を達成しました。特に、戸田選手と中山選手はゴールドメダルを獲得し、男子エア2種目を同一校が独占するという大会史上初の快挙を達成しました。両選手とも、ファイナル（決勝戦）で最後の一発まで競り合い、見事に優勝を収めました。

これらの成果は、選手たちの努力と皆様の温かいご支援の賜物です。10月に開催される全日本選手権での優勝と学生日本代表の座を目指し、さらなる努力を続けてまいります。今後も岡山商科大学体育会射撃部へのご声援をよろしくお願いいたします。

（射撃部コーチ 西谷諭）

## 地域貢献活動学生スタッフ募集と「世界一あったかい缶詰『コノヒトカン』1000缶プロジェクト」について

本学は岡山県内の10市町村と包括協定を結び、過疎化が進む地域での課題解決に向けた活動を行っています。具体的には、地域のお祭りや行事の手伝い、特産品を用いた商品開発、観光商品のモニターツアーなど、多様な活動を通じて、学生は地域の方々と交流を深めながら、コミュニケーション能力や問題解決力を身に付けて欲しいと考えています。そこで産学官連携センターとして、今年度から地域貢献活動を行う学生スタッフを募集することにしました。

現在、17名の学生が参加しており、その中の5名は「世界一あったかい缶詰『コノヒトカン』1000缶プロジェクト」に挑戦しています。このプロジェクトは、まだ食べられるのに廃棄される食材を有効利用するために事業者から買い取り、岡山県の料理長たちがレシピを開発した長期保存可能な缶詰「コノヒトカン」を制作するものです。肉缶と魚缶の2種類があり、一缶（160g）を炊きたてのご飯2合と混ぜるだけで、3～4人前の食事ができます。

このプロジェクトでは、企業や個人からの支援を募り、制作した缶詰を子ども食堂や児童養護施設に配布し、フードロスや貧困問題への関心を高め、食の大切さや人との関わりを知るきっかけを提供することを目指しています。大人たちの社会問題への取り組みや、多くの思いが詰まった『世界一あったかい缶詰コノヒトカン』を未来を担う子供たちに届けることが目的です。

学生たちは、この缶詰を使用した社会貢献活動を企画し、10月5日(土)に山陽新聞社さん太ホールで開催される「第3回コノヒトカン1000缶コンテスト」にてプレゼンテーションをする予定です。地域貢献活動に参加することで、楽しい思い出を作り、社会問題への理解を深め、多くの学びに繋がることを期待しています。（産学官連携センター）

## 犯罪被害者支援部つぼみ表彰

2024.2.27

令和6年2月27日(火)に、岡山県警察本部にて、県学生防犯ボランティア連絡会「おにたいじ」の表彰式が開催されました。式ではおにたいじで活動を行う「岡山商科大学ももパト隊」へ、岡山県防犯協会などから表彰状が授与されました。おにたいじの活動が、地域の防犯活動に少しでも貢献でき、評価されたことを嬉しく思います。

本会では、表彰のほかに各大学の今年度の活動報告が行われ、警察関係者を交えたグループワークでは、今後の活動について話し合いが行われ、様々な意見を聞くことができました。今後の防犯活動に活かす上で良い機会になったと思います。

また、この式の中で防犯ボランティア「岡山ガーディアンズ」代表の小池敏彦さんに講演して頂きました。岡山ガーディアンズは、合言葉に「見てみぬふりをしない」を掲げており、自転車の2人乗りや歩行者の信号無視、タバコのポイ捨ての注意など、積極的にコミュニケーションを図ることで、犯罪の増加に繋がるおそれのある人々への無関心を変えていこうという取り組みをされています。

無関心で何もしないのではなく、あいさつをしたり、目立つ所に立っているだけでも立派な防犯活動になるということをお話しされ、小さなことでも防犯活動に繋がるということが大変勉強になりました。また、声かけのコツとして最初から注意するのではなく、普通の会話などからコミュニケーションを行い、あくまであなたが心配だからという態度を心がけているとお話しされていたのが、印象に残りました。

これからも防犯活動・啓発活動に力を入れていきたいと思います。

（犯罪被害者支援部つぼみ・法学部法学科3年・松岡大雅）

Information
# 情報アラカルト

## 広報室Instagram開設しました!

今年度から岡山商科大学広報室ではInstagramを開設し、学生やその保護者、卒業生、高校生や、本学に関心を寄せていただいている皆さんに向けた投稿をしています。行事やイベント、講義の様子、課外活動、キャンパス内の様子など、大きな出来事から身近な話題までお知らせしていきます。

岡山商科大学にはお昼時になると様々な"キッチンカー"が日替わりで訪れます。美味しそうなランチや魅力的なスイーツなど、商大生が楽しみに感じていることも投稿していますので、キャンパスライフの楽しさを共有してもらえたら嬉しいです。

教育や研究活動についても視覚的にわかりやすい投稿を行い、教育研究機関としてのアカデミックな雰囲気を感じ取っていただけるように様々なトピックスを取り上げていきます。また、ハッシュタグも高校生にリーチするよう工夫し、高校生の皆さんに岡山商科大学での大学生活をイメージして、ここで学びたいと思ってもらえるようにします。

Instagramを通じて、より多くの方々に本学の魅力をお届けしますので、ぜひ、アカウントのフォローをお願いします!

@OKASHOKAUNIV

(総務企画課)

## KSB「自由人、会社人ートップの横顔」に井尻学長が出演!

KSB瀬戸内海放送の番組「自由人、会社人ートップの横顔ー」に本学井尻昭夫学長が出演しました。この番組は、岡山・香川のキーパーソンが仕事や趣味、地域への思いを語るものです。

番組の中で、井尻学長から60周年を記念して建築される新校舎に込めた思いや、経営者による講義、地域連携の現状と狙いについて語られました。

番組はKSB瀬戸内海放送のWebサイトで視聴することができます。

(総務企画課)

## 第59回商大祭

『Instagram』 『商大ブログ』

今年の商大祭は**10月26日(土)、27日(日)**の2日間の日程で開催されます!

今年のテーマは『輝 ～Chemistry で繋がる New Story～』です。

個々の力を発揮し、お互いに影響し合いながら新しい物語を創り出すという目標を表現しています。このテーマによって、参加者全員が一体感を持ち、輝く瞬間を共に作り上げることを目指しています。

学生や地域の皆様が一緒に楽しめ、新しい友達やコミュニティと出会う絶好のチャンスです!ご家族や友人と一緒に、素晴らしい思い出を作りましょう。

また、多彩な催し物やステージパフォーマンス、eスポーツ大会、美味しいフードブースが満載の大学祭です。抽選会やビンゴ大会で豪華景品も…!

皆様のご来場を心よりお待ちしております!

## 2025年度 岡山商科大学 入試日程

**総合型選抜**

| 学部 | 試験区分 | 選考方法 | 試験日 | 試験会場 | 出願期間 | 合格発表日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 法学部<br>経済学部<br>経営学部 | 第1回(専願) | ①全学科共通課題に対するレポート<br>②面接・口頭試問 | 10月19日(土) | 本学 | 9月24日(火)～10月9日(水) | 11月1日(金) |
| | 第2回(専願・併願選択制) | | 2月14日(金) | 本学 | 1月6日(月)～1月22日(水) | 2月21日(金) |

**学校推薦型選抜**

| 学部 | 試験区分 | | 選考方法 | 試験日 | 試験会場 | 出願期間 | 合格発表日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 法学部<br>経済学部<br>経営学部 | 指定校推薦（専願） | | 出願要件・選考方法については募集要項をご覧ください。 | 11月17日(日) | 本学・※沖縄 | 11月1日(金)～11月8日(金) | 12月2日(月) |
| | 特別指定校推薦（専願） | | | 2月20日(木) | 本学 | 2月3日(月)～2月14日(金) | 2月28日(金) |
| | 専門能力推薦A（一般型） | 前期日程（専願） | ①基礎学力テスト(100点)（現代の国語）<br>②面接・口頭試問 | 11月23日(土) | 本学 | 11月1日(金)～11月8日(金) | 12月2日(月) |
| | | 後期日程（専願） | | 2月2日(日) | 本学 | 1月6日(月)～1月15日(水) | 2月14日(金) |
| | 専門能力推薦B（部活動スポーツ推薦型） | 前期日程（専願） | 出願要件・選考方法については募集要項をご覧ください。 | 11月16日(土) | 本学・※沖縄 | 11月1日(金)～11月8日(金) | 12月2日(月) |
| | | 中期日程（専願） | | 2月14日(金) | 本学 | 1月24日(金)～2月3日(月) | 2月21日(金) |
| | | 後期日程（専願） | | 3月14日(金) | 本学 | 2月28日(金)～3月7日(金) | 3月21日(金) |
| 法学部<br>経済学部<br>経営学部 | 一般公募制推薦 | 前期A日程 | ①基礎学力テスト(100点)（現代の国語）<br>②調査書（50点）<br>③推薦書 | 11月23日(土) | 本学・姫路・鳥取<br>松江・広島・福山<br>山口・徳島・高松<br>松山・高知・那覇 | 11月1日（金）<br>～11月13日（水） | 12月2日(月) |
| | | 前期B日程 | ①基礎学力テスト（100点）（英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、数学Ⅰ・A、簿記のうち1科目を試験当日会場で選択）<br>②調査書（50点）<br>③推薦書 | 11月24日(日) | | | |
| | | 後期日程 | ①基礎学力テスト（100点）（英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、現代の国語、数学Ⅰ・A、簿記のうち1科目を試験当日会場で選択）<br>②調査書（50点）<br>③推薦書 | 12月14日(土) | 本学 | 11月25日（月）<br>～12月3日（火） | 12月20日(金) |

**一般選抜**

| 学部 | 試験区分 | 選考方法 | | 試験日 | 試験会場 | 出願期間 | 合格発表日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 法学部<br>経済学部<br>経営学部 | 一般入試<br>前期A日程 | ①選択2科目(200点)… | 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、現代の国語、世界史探究、日本史探究、公共、数学Ⅰ・Aのうち2科目を試験当日会場で選択 | 2月2日（日） | 本学・姫路・鳥取<br>松江・広島・福山<br>山口・徳島・高松<br>松山・高知 | 1月6日（月）<br>～1月22日（水） | 2月14日(金) |
| | 一般入試<br>前期B日程 | | | 2月3日（月） | | | |
| | 一般入試<br>中期日程 | ①選択2科目(200点)… | 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、現代の国語、数学Ⅰ・Aのうち2科目を試験当日会場で選択 | 2月20日（木） | 本学 | 2月3日（月）<br>～2月14日（金） | 2月28日（金） |
| | 一般入試<br>後期日程 | ①選択2科目(200点)…<br>②面接・口頭試問 | 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、現代の国語、数学Ⅰ・A、小論文のうち2科目を試験当日会場で選択 | 3月14日（金） | 本学 | 2月27日（木）<br>～3月7日（金） | 3月21日（金） |

| 学部 | 試験区分 | 入試教科・科目 | 選考方法 | 試験日 | 出願期間 | 合格発表日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 法学部<br>経済学部<br>経営学部 | 大学入学共通テスト利用入試前期日程 | 国語、地歴・公民(「地理総合,地理探究」、「歴史総合,日本史探究」、「歴史総合,世界史探究」、「公共,倫理」、「公共,政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」から第1解答科目)、数学(「数学Ⅰ,数学A」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目)、理科(「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から第1解答科目)、外国語(「英語」(リスニングを含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目)、情報(「情報Ⅰ」)から2教科を対象とします。 | 個別試験は実施しません。高得点2教科を合否判定に使用します。(400点満点。大学入学共通テストでの配点が100点の科目は200点に換算します。) | 個別試験は実施しません | 1月6日（月）～1月27日（月） | 2月21日（金） |
| | 大学入学共通テスト利用入試中期日程 | | | | 2月3日（月）～2月14日（金） | 2月28日（金） |
| | 大学入学共通テスト利用入試後期日程 | | | | 3月3日（月）～3月11日（火） | 3月21日（金） |

**一般選抜**

| 学部 | 試験区分 | 入試教科・科目 | 選考方法 | 試験日 | 出願期間 | 合格発表日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 経済学部 | 大学入学共通テスト利用入試後期日程［経済学部特別入試］ | 数学(「数学Ⅰ,数学A」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ,数学B,数学C」)から1科目を対象とします。 | 個別試験は実施しません。高得点1科目を合否判定に使用します。 | 個別試験は実施しません | 3月3日（月）～3月11日（火） | 3月21日（金） |

*すべてインターネット出願です。正式な日程等、詳細については、学生募集要項でご確認ください。　※試験会場（沖縄会場）はオンラインです。

●ご意見・ご感想等は、総務企画課学報担当まで　E-Mail／kouhou@po.osu.ac.jp

発行所 岡山商科大学 〒700-8601 岡山市北区津島京町2丁目10-1 電話(086)252-0642(代)
印刷 山陽印刷株式会社

©2024 岡山商科大学